

# 1. 工程管理

令和3年10月

# 1 工 程 管 理

## (1) 工程管理基準

工程管理は、工事内容、工期及び現場の実情に応じて作成した**計画工程表**(バーチャート又はネットワーク)により**管理**するものとする。工事の種類、規模を問わずすべての工事について実施するものとする。また、**変更指示及び契約変更**があった場合は、**残工事に対する変更工程表**を作成するものとする。

## (2) 工事履行報告

受注者は、工事請負契約約款第 11 条に規定する工事の**進捗状況を翌月 5 日迄**に、監督員に**報告**するものとする。なお履行報告の様式は後述の「工事月報及び工事履行報告書作成要領」に基づき作成するものとする。

## (3) 実施工程表の作成

受注者は、計画工程に対する実施工程を管理するものとする。

- 1) 計画工程の**下段に赤書きで実施工程**を記入し対比する。
- 2) 変更指示、契約変更、出来形検査など特記すべき事項を記入する。

## (4) 工程表の大きさ

工程表の大きさはA 4 判又はA 4 判の倍程度にまとめるものとする。

## (5) 計画工程表作成にあたり考慮すべき事項

- ① 工事及び作業の制約
  - ・ 先行工事や後続工事の関連からの当該工事の着工、完了時期、施工方法。
  - ・ 現道工事等施工箇所<sup>の</sup>立地条件による施工時期、施工時間、施工方法。
  - ・ 関係機関との協議、工事用地の確保、支障物件の撤去等の有無。
  - ・ 公害防止対策のための施工時間、施工方法。

等によっても、工事及び作業の制約を受けることがある。

- ② 環境(地形、地質、気象、水理等)を考慮した施工計画
- ③ 施工順序
- ④ 労務、機械の使用計画
- ⑤ 作業能力及び標準稼働時間の決定
- ⑥ 工事期間の作業可能日数の算定
- ⑦ 立会、段階確認(社内検査)の計画

# 工事月報及び工事履行報告書作成要領

## 1. 目的

工事請負契約約款第 11 条（履行報告）に、「受注者は、設計図書に定めるところにより、この契約の履行について発注者に報告しなければならない。」と規定されている。

そこで本章は、工事履行報告書及び基礎資料となる工事月報の作成要領を取りまとめたものである。

## 2. 作成上の留意点

### 2-1 工事月報

- (1) 工事月報は、受注者が作成し保管する。（原則提出不要。監督員が進捗状況の確認を必要とする場合には、指示書により提出を求める。）
- (2) 出来高数量は、契約数量が一式又は一式（ ）表示の場合は進捗年数量表示の場合は数量で記入する。
- (3) 累計出来高は進捗率を記入する。
- (4) 出来高数量は下記について確認できた数量とする。
  - ① 切土（掘削、積込、運搬）は運搬まで完了した土量。
  - ② 盛土（敷均し、転圧）は転圧まで完了した土量。
  - ③ 鉄筋工は組立が完了した鉄筋重量。
  - ④ コンクリートは打設完了後 1 週間以上経過し、所要強度の確認又は推定できたコンクリート立積。
  - ⑤ 型枠工は脱枠が完了した型枠面積。
  - ⑥ 仮設工（足場工、支保工、土留工、水替工等）で仮設期間が長期間に及ぶものは、その期間の進捗率を出来高に反映させる。
  - ⑦ その他出来高が確認できた数量。

### 2-2 工事履行報告書

- (1) 工事履行報告書は、受注者が工事月報を基に作成し、翌月 5 日迄に提出する。（監督員が確認する。）
- (2) 工事履行報告書の用紙規格は A-4 縦とする。
- (3) 状況写真を数枚程度添付する。
- (4) 実施工程表の添付は原則不要。中間前金払認定請求を行う場合のみ添付する。
- (5) 指示・承諾・協議書の添付は要しない。

## 3. 作成要領

### 3-1 工事月報

- (1) 工事月報の用紙規格は A-4 縦とする。

- (2) 対象費目は直接工事費とし、間接費は記入しなくてよい。
- (3) 契約数量は工事数量総括表の数量とし、当該月に変更指示があった場合は、当該月の契約数量の上段に（ ）朱書で記入する。一式契約の場合も工事内容に変更があった場合は、同じく上段に（一式）朱書で記入する。また、この記入は契約変更の前月まで続行する。また、この変更指示数量については、当該月に契約変更があったものとして計算する。
- (4) 出来高数量は概算でよい。
- (5) 記事欄については下記事項を記入する。
  - ① 変更指示内容（指示年月日、番号、指示数量）
  - ② 工事中止及び解除内容（通知年月日・中止期間等）
  - ③ 災害、事故その他特記すべき重要事項
- (6) 出来高進捗率の算出手順を下記に示す。次ページ出来高進捗率の算出例及び月報作成例を加え参照されたい。
  - ① 各工種内訳金額は工事請負者の見積金額とし、直接工事費を算出する。
  - ② 直接工事費を100%として、工種、種別、細別、の順に順次構成率を算出する。  
(2) → (3) → (4)
  - ③ 各細別（又は種別）の当該月までの出来高数量及び契約数量が一式又は一式（ ）の場合は、積み上げ計算により進捗率を算出し(5)に記入する。
  - ④ 各細別(又は種別)の契約数量に対する出来高数量の進捗率を算出して(6)に記入する。この場合契約数量が一式又は一式（ ）の場合は、その進捗率をそのまま記入する。この数値を月報の細別（又は種別）の累計出来高欄に記入する。
  - ⑤ 各細別の出来高構成率(7)を算出する。
  - ⑥ 一つの種別に複数の細別がある場合は、細別(7)を集計(8)し、当該種別の構成率に対する出来高進捗率(9)を算出する。この数値を月報の種別の累計出来高欄に記入する。又、細別を含まない種別は、当該種別の出来高構成率(8)を算出する。
  - ⑦ 一つの工種に複数の種別がある場合は、種別(8)の集計(10)及び当該工種の構成率に対する出来高進捗率を算出する。この数値を月報の工種の累計出来高欄に記入する。
  - ⑧ 各工種(10)を累計(12)する。これが直接工事費の出来高進捗率となる。この数値を月報の直接工事費の累計出来高欄に記入する。

### 3-2 工事履行報告書

- (1) 工事履行報告書の用紙規格はA-4縦とする。
- (2) 施工計画書作成時に作成される計画工程表で、あらかじめ各月の出来高予定を計算しておき、予定工程の欄に記入する。
- (3) 前項の工事月報で算出された出来高を実施工程の欄に記入する。尚、共通仮設費（積上げ分）の占める割合が大きい場合は別途考慮する。

## 4. 作成例

作成例については次頁に示す。

## 出来高進捗率の算出例

工種	種別	細別	単 位	契約数量 (1),	見積額 (千円)	構成率			累計出来高		細別 出来高 構成率(7) =(4)×(6) ÷100	種別		工種		費目 累計出来高 進捗率 Σ(9)	
						工種 (2)	種別 (3)	細別 (4)	数量 (5)	進捗率(6)= (5)÷(1)×100 又は(5)		出来高 構成率(8) =Σ(7)又は (8)÷(3)×100 又は(5)	出来高構成率 =Σ(8)	累計出来高 進捗率 =Σ(9)			
直接 工事費					184,110	100											7.6+0.6+9.9+5.0+…… =24.7%
土工					52,550	28.5								0.7+6.9=7.6			7.6÷28.5× 100=26.7%
	切土				17,790		9.6					0.6+0.1= 0.7	0.7÷9.6× 100=7.3%				
		砂質土	回式	(14,268) 1	6,370			3.4	(2,650) 18.6%	18.6%	3.4×18.6÷ 100=0.6						
		軟岩 (1)	回式	(11,023) 1	11,420			6.2	(200) 1.8%	1.8%	6.2×1.8÷ 100=0.1						
	盛土				34,760		18.9					0.1+0.1+ 6.7=6.9	6.9÷18.9× 100=36.5%				
		自工区流用土	回式	(24,415) 1	3,220			1.7	(2,100) 8.6%	8.6%	1.7×8.6÷ 100=0.1						
		発生土	回式	(1,951) 1	320			0.2	(1,250) 64.1%	64.1%	0.2×64.1÷ 100=0.1						
		採取土	回式	(32,758) 1	31,220			17.0	(12,900) 39.4%	39.4%	17.0×39.4 ÷100=6.7						
法面工					5,210	2.8								0.1+0.4+0.1= 0.6			0.6÷2.8× 100=21.4%
	切土法面 整形工		回式	(1,865) 1	1,400			0.7	(280) 15.0%	15.0%	0.7×15.0 ÷100=0.1						
	盛土法面 整形工		回式	(4,256) 1	2,365			1.3	(1,380) 32.4%	32.4%	1.3×32.4 ÷100=0.4						
	人張芝工		m	4,256	1,445			0.8	700 ×100=16.4%		0.8×16.4 ÷100=0.1						
擁壁工					90,740	49.3								5.2+3.8+0.9 =9.9			9.9÷49.3× 100=20.1%
	逆T擁壁		(m) 式	(151) 1	67,800			36.8	(0) 14.2%	14.2%	36.8×14.2 ÷100=5.2			※出来高延長は0であるが、床堀及び基礎工が一部完了したため積み上げ計算の結果14.2%となった。			
	重力式擁壁				13,060			7.1			1.6+2.2= 3.8	3.8÷7.1× 100=53.5%					
		1 重力式擁壁	号 回式	(45) 1	4,230			2.3	(32) 71.1%	71.1%	2.3×71.1 ÷100=1.6						
		2 重力式擁壁	号 回式	(65) 1	8,830			4.8	(30) 46.2%	46.2%	4.8×46.2 ÷100=2.2						
	ブロック積擁壁		回式	(528) 1	9,880			5.4	(85) 16.1%	16.1%	5.4×16.1 ÷100=0.9						
函渠工					19,010	10.3								4.0+1.0=5.0			5.0÷10.3× 100=48.5%
	1 号 函渠工		式	1	12,080			6.5	62.2%	62.2%	6.5×62.2 ÷100=4.0						
	2 号 函渠工		式	1	6,930			3.8	25.4%	25.4%	3.8×25.4 ÷100=1.0						

工 事 月 報

工 事 名		〇〇地区〇〇工事			請負者名		〇〇建設(株)		平成〇年〇月〇日	
工 種	種 別	細 別	単 位	契約数量	出 来 高 数 量			累 計 出来高 %	記 事	
					前 期 迄	今 期	累 計			
直 接 工 事 費								24.7		
土 工								26.7		
	切 土							7.3		
		砂 質 工	㎥ 式	(14,268) 1	(800) 5.6%	(1,850) 13.0%	(2,650) 18.6%	18.6		
		軟 岩 (I)	㎥ 式	(11,023) 1	0	(200) 1.8%	(200) 1.8%	1.8		
	盛 土							36.5		
		自 工 区 流 用 土	㎥ 式	(24,415) 1	(700) 2.9%	(1,400) 5.7%	(2,100) 8.6%	8.6		
		発 生 土	㎥ 式	(1,951) 1	(950) 48.7%	(300) 15.4%	(1,250) 64.1%	64.1		
		採 取 土	㎥ 式	(32,758) 1	(4,600) 14.0%	(8,300) 25.4%	(12,900) 39.4%	39.4		
法 面 工								21.4		
	切 土 法 面 整 形 工		㎥ 式	(1,865) 1	0	(280) 15.0%	(280) 15.0%	15.0		
	盛 土 法 面 整 形 工		㎥ 式	(4,256) 1	(300) 7.0%	(1,080) 25.4%	(1,380) 32.4%	32.4		
		人 工 張 芝 工	m <sup>2</sup>	4,256	0	700	700	16.4		
擁 壁 工								20.1		
	逆 T 擁 壁		㎥ 式	(151) 1	(0) 4.5%	(0) 9.7%	(0) 14.2%	14.2		
	重 力 式 擁 壁							53.5		
		1 号 重 力 式 擁 壁	㎥ 式	(45) 1	0	(32) 71.1%	(32) 71.1%	71.1		
		2 号 重 力 式 擁 壁	㎥ 式	(65) 1	0	(30) 46.2%	(30) 46.2%	46.2		
	ブ ロ ッ ク 積 擁 壁		㎥ 式	(528) 1	0	(85) 16.1%	(85) 16.1%	16.1		
函 渠 工								48.5		
	1 号 函 渠 工		式	1	13.3%	48.9%	62.2%	62.2		
	2 号 函 渠 工		式	1	6.1%	19.3%	25.4%	25.4		

## 出来高進捗率の算出例

工種	種別	細別	単位	契約数量 (1)	見積額 (千円)	構成率			累計出来高		種別			工種		費目
						工種 (2)	種別 (3)	細別 (4)	数量 (5)	進捗率(6)= (5)÷(1)×100 又は(5)	出来高 構成率(7)= (4)×(6) ÷100	出来高 構成率(8) =Σ(7)又は (3)×(6)÷100	累計出来高 進捗率(9) (8)÷(3)×100 又は(5)	出来高構成率 (10) =Σ(8)	累計出来高 進捗率 (11)	
直	接				190,270	100										16.2+1.4+36.5+8.8+..... =69.4%
土	工				56,300	29.6								2.3+13.9= 16.2	16.2+29.6× 100=54.7%	
	切	土			17,800		9.4					1.9+0.4= 2.3	2.3÷9.4× 100=24.5%			
		砂質土	回式	(16,976) 1	7,850		4.1	(7,850) 46.2%	46.2%	4.1×46.2÷ 100=1.9						
		軟岩	回式	(9,604) 1	9,950		5.3	(690) 7.2%	7.2%	5.3×7.2÷ 100=0.4						
	盛	土			38,500		20.2					0.5+0.1+ 13.3=13.9	13.9+20.2× 100=68.8%			
		自工区流用土	回式	(25,366) 1	3,350		1.7	(7,560) 29.8%	29.8%	1.7×29.8+ 100=0.5						
		発 生 土	回式	(2,138) 1	350		0.2	(1,500) 70.2%	70.2%	0.2×70.2+ 100=0.1						
		採 取 土	回式	(36,514) 1	34,800		18.3	(26,600) 72.8%	72.8%	18.3×72.8 ÷100=13.3						
法	面	工			6,060	3.2								0.2+0.8+0.4 =1.4	1.4÷3.2×100 =43.8%	
	切	土	法	面												
	整	形	工	回式	(2,126) 1	1,590		0.8	(630) 29.6%	29.6%		0.8×29.6 ÷100=0.2				
	盛	土	法	面												
	整	形	工	回式	(4,988) 1	2,775		1.5	(2,700) 54.1%	54.1%		1.5×54.1 ÷100=0.8				
	人	張	芝	工	m	4,988		0.9	2,300	2,300÷4,988 ×100=46.1%		0.9×46.1 ÷100=0.4				
擁	壁	工			92,300	48.5								26.0+5.8+ 4.7=36.5	36.5÷48.5× 100=75.3%	
	逆	T	擁	壁	回式	(151) 1	67,800		35.6	(60) 73.0%	73.0%		35.6×73.0 ÷100=26.0			※出来高延長は60mで、その進捗率は40%であるが 床掘及び基礎工が完了したため積上げ計算の結果 73%となった。
	重	力	式	擁			13,060		6.9			2.2+3.6= 5.8	5.8+6.9× 100=84.1%			
		1	重	力	式	擁			2.2	(45) 100%	100%	2.2×100+ 100=2.2				
		2	重	力	式	擁			4.7	(50) 76.9%	76.9%	4.7×76.9+ 100=3.6				
	ブ	ロ	ク	積	擁	壁	回式	(609) 1	11,390		6.0	(480) 78.8%	78.8%	6.0×78.8 ÷100=4.7		
函	渠	工			19,010	10.0								6.0+2.8=8.8	8.8+10.0× 100=88.0%	
	1	函	渠	工	式	1	12,080		6.3	95.8%	95.8%	6.3×95.8 ÷100=6.0				
	2	函	渠	工	式	1	6,930		3.7	75.3%	75.3%	3.7×75.3 ÷100=2.8				

工 事 月 報

工 事 名		〇〇地区〇〇工事		請負者名		〇〇建設備		平成〇年〇月〇日	
工 種	種 別	細 別	単 位	契約数量	出来高数量			累 計 出来高 %	記 事
					前期迄	今 期	累 計		
直 接 工 事 費								69.4	〇月〇日 第〇号監督員指示
土 工								54.7	
	切 土							24.5	
		砂 質 工	㎡	(16,979) (14,268)	(2,650) 18.6%	(5,200) 30.6%	(7,850) 46.2%	46.2	
		軟 岩 (I)	㎡	(9,604) (14,268)	(200) %	(490) 5.1%	(690) 7.2%	7.2	
	盛 土							68.8	
		自 工 区 流 用 土	㎡	(25,366) (24,415)	(2,100) 8.6%	(5,460) 21.5%	(7,560) 29.8%	29.8	
		発 生 土	㎡	(2,138) (1,951)	(1,250) 64.1%	(250) 11.7%	(1,500) 70.2%	70.2	
		採 取 土	㎡	(36,514) (32,758)	(12,900) 39.4%	(13,700) 37.5%	(26,600) 72.8%	72.8	
法 面 工								49.8	
	切 土 法 面 整 形 工		㎡	(2,126) (1,865)	(280) 15.0%	(350) 16.5%	(630) 29.6%	26.9	
	盛 土 法 面 整 形 工		㎡	(4,988) (4,256)	(1,380) 32.4%	(1,320) 26.5%	(2,700) 54.1%	54.1	
		人 工 張 芝 工	㎡	(4,988) 4,256	700	1,600	2,300	46.1	
擁 壁 工								75.3	〇月〇日 第〇号監督員指示
	逆 T 擁 壁		㎡	(151) 1	(0) 14.2%	(60) 58.8%	(60) 73.0%	73.0	
	重 力 式 擁 壁							84.1	
		1 号 重 力 式 擁 壁	㎡	(45) 1	(32) 71.1%	(13) 28.9%	(45) 100%	100	
		2 号 重 力 式 擁 壁	㎡	(65) 1	(30) 46.2%	(20) 30.7%	(50) 76.9%	76.9	
	ブ ロ ッ ク 積 擁 壁		㎡	(609) (528)	(85) 16.1%	(395) 64.9%	(480) 78.8%	78.8	
函 渠 工								88.0	
	1 号 函 渠 工		式	1	62.2%	33.6%	95.8%	95.8	
	2 号 函 渠 工		式	1	25.4%	49.9%	75.3%	75.3	

  

工 種	種 別	細 別	単 位	数 量
土 工				
	切 土			
		砂 質 土	㎡	(16,979) 1
		軟 岩 (I)	㎡	(9,604) 1
	盛 土			
		自 工 区 流 用 土	㎡	(25,366) 1
		発 生 土	㎡	(2,138) 1
		採 取 土	㎡	(36,514) 1
法 面 工				
	切 土 法 面 整 形 工		㎡	(2,126) 1
	盛 土 法 面 整 形 工		㎡	(4,988) 1
	人 工 張 芝 工		㎡	4,988

  

工 種	種 別	細 別	単 位	数 量
擁 壁 工				
	ブ ロ ッ ク 積 擁 壁		㎡	(609) 1



## 工 事 履 行 報 告 書

工事名	〇 〇 地 区 〇 〇 工 事		
工 期	平成7年5月7日～平成8年3月30日		
日 付	平成8年3月1日（2月分）		
月 別	予 定 工 程 % ( ) は工程変更後	実 施 工 程 %	備 考
7 年 5 月		2.2	
6 月		9.1	
7 月		17.4	
8 月		24.7	
9 月		38.7	
1 0 月	58 (55)	54.9	工程変更
1 1 月	73 (69)	69.4	
1 2 月	82 (79)	78.3	
8 年 1 月	90 (88)	88.5	
2 月	96 (96)	96.2	
3 月	100 (100)		
(記事欄)			

監督員	副 監 督 員

現場 代理人	主任(監理) 技 術 者